

加法, 減法 (3)**項**

加法と減法の混じった式を、加法だけの式になおしたとき、その式の中の一つ一つの数のことを、その式の項といいます。

加法だけの式は、かっこと記号+をはぶいて、項だけを並べることであらわすことができます。

$$\begin{aligned} \text{例) } & (+3) - (+7) \\ & = (+3) + (-7) \\ & = +3 - 7 \end{aligned}$$

加法と減法の混じった式の計算方法

加法と減法の混じった式を計算するには、まず加法だけの式になおしてから、正の項どうし、負の項どうしを先に計算します。

$$\begin{aligned} \text{例) } & (+3) - (+2) - (-7) + (-1) \\ & = (+3) + (-2) + (+7) + (-1) \\ & = +3 - 2 + 7 - 1 \\ & = +3 + 7 - 2 - 1 \\ & = +10 - 3 \\ & = +7 \end{aligned}$$

【1】 次の式の項を答えなさい。

$$(1) -17 + 1 + 13 - 8$$

$$= (-17) + (+1) + (+13) + (-8)$$

$$(2) 2 - 5 + 3 + 9 - 11$$

$$= (+2) + (-5) + (+3) + (+9) + (-11)$$

答え (1) $-17, +1, +13, -8$ (2) $+2, -5, +3, +9, -11$

【2】 次の式を計算しなさい。

$$(1) +6 - 2 = +4$$

$$(2) -7 + 15 = +8$$

$$(3) (-3) + (+2) - (+5)$$

$$= -3 - 5 + 2$$

$$= -8 + 2$$

$$= -6$$

$$(4) (-5) + (+9) - (+8) - (+12)$$

$$= -5 - 8 - 12 + 9$$

$$= -25 + 9$$

$$= -16$$